# 中学校 第2学年 英語 4 (5)

### 〇調 査問 題

問題の学力のレベルレベル 9-A

|4| 次の英文(1) ~(5) の( ) に入れる語句として最も適切なものを,

下のア~エのうちからそれぞれ1つ選びなさい。

(5) A: How many students does your school have?

B: ( ) three hundred.

ア About

✓ In

ウ For

エ At

## ○調査問題の趣旨・内容

#### 「基本的な語彙や文法・語法についての知識が身に付いているかどうかをみる」問題

【問題内容】 英文が完成するように、( ) に当てはまる正しい英語(前置詞)を選ぶ。

【作成の趣旨】 疑問詞を用いた疑問文に対して、一文単位ではなく、前置詞を用いた句の形式で 返答する力を問う問題である。それぞれの前置詞が持っている意味や役割を理解して、文脈に合った前置詞を選ぶ力が問われる。

# 〇 誤 答 分 析

解答類型	①正答	2	3	4	無同效	
出題のねらい	アを選択	イを選択	ウを選択	エを選択	無回答	
基本的な語彙や文						
法・語法について	46. 8%	16.6%	10.5%	25.2%	0.9%	
の知識を問う問題						

- 誤答は比較的均等に分散していることから、正答した生徒も含めて、自信を持って答えを 選べた生徒はあまり多くはないと考えられる。習熟度が高い生徒以外では、正答を選ぶ割 合が極端に低く、非常に難易度の高い問題であったと言える。
- 疑問文の主語 your school が「人間以外」なので、疑問文そのものの意味を理解できなかった生徒も一定数いたと考えられる。また、In や At など前置詞を引き出しやすい When や Where といった疑問詞に比べて、How many の疑問文に対しては特定の前置詞を思い浮かべにくく、消去法で正答アにたどり着いた生徒もいたと考えられる。
- 特に習熟度が中位の生徒が、誤答工(At)を選んでいる。時間などの表現で1年次に学習した At three といった句に馴染みがあり選択した可能性が考えられる。

## 〇指導上のポイント

### 日頃から前置詞を使って句で答える習慣を身につける!

英問英答は難易度が高く、生徒も苦手意識を感じやすい。日頃の授業の中で、生徒とのなに げないインタラクションや、教科書の内容についてのQ&A等において、文単位にこだわら ず、句や語といった単位で答える練習に取り組むことで、苦手な生徒でも取り組めるようにな る。

(1) 経門立に対する答え方の例 ※次の3つの答え方はあくまでも例です。

Where did you play soccer yesterday?



①シンプルな答え方

(単語のみで答える)

②かっこいい答え方

(前置詞+名詞で答える)

③ていねいな答え方

(文で答える)

Park!

In the park!

I played it in the park!

英語が苦手な生徒には最初はシンプルで答えることを認めつつ、習熟度の高い生徒にはかっ こいいや<mark>ていねい</mark>で答えることを要求し、できた場合には大いに賞賛する。<mark>ていねい</mark>で答えた 生徒にあえて「かっこいいで答えてみよう。」と促すのもよい。

(2) ペアなど、生徒同士でもCool Answer (かっこいい答え方) を要求しあう

質問と模範解答のリストを配り、ペアで機械的なQ&Aの練習に取り組む。その際、質問者 は相手の答え方を指定する。最初はリス| ら答える側はリストを 答え方を指定(ここでは きえるよう<del>にする。</del>

What time did you get up this morning? | Cool answer!

At six thirty.



## ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

(3) A: How does your father go to work?

レベル7~9

B: (

- ア By bike.
- イ In my car.
- ウ At seven.

答え

【出典】 復習シート 中学2年生・英語「読むこと」

# 〇調査問題

4 次の英文 (1)  $\sim$  (5) の ( ) に入れる単語として最も適切なものを、下のア $\sim$ エのうちからそれぞれ1つ選びなさい。

(4) Where ( ) your grandmother and grandfather live?

ア does

√ do

ウ is

エ are

## ○調査問題の趣旨・内容

#### 基本的な語彙や文法・語法についての知識を身に付けているかどうかをみる問題

【問題内容】英文が完成するように、()に当てはまる正しい英語(助動詞)を選ぶ。

【作成の趣旨】 この問題は、文中の主語 your grandmother and grandfather に対して適切な 助動詞 do を選択できるかどうかを見る問題である。

# 〇誤答分析

解答類型	1	②正答	3	4	<b>4mt</b>	7- 0-14
出題のねらい	アを選択	イを選択	ウを選択	エを選択	無解答	その他
適切な助動詞を選	97 10/	22. 9%	20.1%	20 40/	0.0%	O E0/
ぶことができる	27.1%	22. 9%	20.1%	29.4%	0.0%	0.5%

①疑問詞を用いた疑問文であること、②主語となる部分が長い問題であることから、生徒にとっては難易度が高い問題であると考えられる。正答を選択できなかった理由としては、生徒の知識・理解の段階により、①文中の主語がどの部分を示しているのか理解できていないこと、②文中の主語に対して適する助動詞を理解し選択することができていないことなどが考えられる。

選択肢	選択肢の分析		
7 does	文中の動詞「live」があることから「助動詞」を用いることは理解できている		
	が、主語 your grandmother and grandfather が複数であると捉えられず、doe		
	を選択したと考えられる。		
イ do	正答		
ウ is	主語 your grandmother and grandfather が複数であるということを捉えること		
	ができていない。また、be 動詞と一般動詞を同時に用いることができないという		
	ことも、理解できていないと考えられる。		
エ are	主語 your grandmother and grandfather が複数であるということは捉えること		
	はできているが、be 動詞と一般動詞は同時に用いることができないということ		
	を、理解できていないと考えられる。		

## 〇指導上のポイント

#### 1 基本的な語彙や文法等の知識を身に付けるための活動例(個人、ペアなどで実施)

- (1)主語を代名詞にかえる練習
  - →「主語把握」につなげる活動
- ●リストを準備し、様々な主語を代名詞に 変換するトレーニングを行う。

主語	代名詞
Tonny	Не
My sister	She
A car	It
Two dogs	They
Tonny and his sister	They
•	:

#### (2)疑問文の答え方の練習

- ●質問と模範解答のリストを配り、Q&A の練習に 取り組む。
- ●質問と答えを、役割を替えながら行う。

質問	答え			
Do you like soccer?	Yes, I do. / No, I don't.			
Does she play tennis?	Yes, she does. / No, she doesn't.			
Does your father cook?	Yes, he does. / No, he doesn't.			
Do Tom and Ken play	Yes, they do. / No, they don't.			
tennis every morning?				
:	:			

#### 2 「英文を書く力」や「気持ちを伝える・答える力」を育む指導(日頃の積み重ねから)

- (1)教科書等を活用した主体的・対話的な活動 (ペア・グループによる活動)
  - ① 教科書に掲載されている言語の使用場面に注目した題材(旅行、道案内、電話、駅・空港の場面等)を利用し、オリジナルの対話文を作成する。
    - ※ 上記の疑問詞の活用のQ&A用リストを利用してもよい。
  - ② 1の活動例を参考に、作成した対話文についてのインプット活動を行う。
  - ③ アウトプット活動として、ペアやグループごとに発表する。
    - ※ 発表者は、聞き手を意識し、実物や視覚的な資料を用いるとよい。
    - ※ 発表を聞いている生徒にも発表者に対する質問(疑問詞の活用)を考えさせることで、「尋ねる」というタスクを加え、インタラクティブに発展させる。
- (2)教科書以外の主体的・対話的な活動例 (ペア活動の充実)

You are creators!! (行間を考えて書く活動)

	Ken: Tom: Ken: Tom:	I 人を誘う場面 → 生徒の興味園I play soccer every Sunday.		d see us?	学習段階に応じ て、作成する文の 量を増やす。	
\		- トーンハナケスを目的の相子	山川然によいて	書用! たいけ	カウナックスサム	+ 1.

- ① コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、表現したい内容をペアで考え、まとまりのある文(対話などのやりとり等)を作る活動を行う。
  - ※ 考える内容に生徒の興味関心の高いものを扱う。
  - ※ 学習段階に応じて、作成する文の量を増やす。
- ② それぞれの作品について、発表を行い、「工夫されていた点」等を全体で共有する。
- ③ 共有した内容を活用して、よりよい作品づくりにつなげる。(繰り返し行うことが大切)

#### 〇 復習シート

●次の英文の答えとして最も適切なものを、下のア~エのうちから1つ選びなさい。

### Where do your sister and brother live?

- ア、She lives in Saitama.
- イ、They live in Saitama.
- ウ、Yes, she does.
- 工、Yes, they do.